

事務事業評価シート

(H.28)No.	1304	(H.27)No.	1304
-----------	------	-----------	------

事務事業名	福祉まちづくりセンター運営事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	田中 克広	

会計区分	事業コード	120515
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	社会福祉総務費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 社会福祉総務費	福祉まちづくりセンター運営事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	3 健康福祉ネットワークの構築
	施策	1 健康福祉ネットワーク
	小施策	3 地域福祉推進体制の整備
重点施策コード	2-1.福祉まちづくりセンター事業推進(ボランティア活動促進)	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
ボランティア活動を始めとする地域福祉活動の振興を図るとともに高齢者等の自己実現と活躍の場を提供する。
事業内容
ボランティア活動の拠点及び高齢者の活躍の場を提供するため、ショッピングセンターリバーナ3階に福祉まちづくりセンターを設置し、名張市社会福祉協議会に当該運営を委託する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	[運営委託料 7,000千円] 直接雇用人件費 5,475千円 嘱託職員1名 臨時職員2名 管理費・事務費 1,525千円	[運営委託料 6,000千円] 委託事務従事者人件費 4,467千円 事務員2名、事務補助員1名 管理費・事務費 1,533千円	運営委託料 6,000千円	運営委託料 6,000千円	運営委託料 6,000千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	7,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 7,000	6,000	6,000	6,000	6,000
人工数					
職員	0.03人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 228千円	380千円	380千円	380千円	380千円
①+②総事業費	(0千円) 7,228千円	6,380千円	6,380千円	6,380千円	6,380千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
ボランティア活動の拠点として、交流・実践の場を提供し、事業の進捗を図った。	ボランティア活動の拠点及び高齢者の活躍の場を提供するため、「生涯現役に向けた取組」の向上を図るとともに事業に係る財源の確保に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	・共助のネットワークの構築 ・生涯現役社会の創造
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	地域づくり組織、ボランティア団体、NPO団体等による地域福祉活動の実践・交流の場として活用。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画
今後ますます増加する高齢者の活躍の場を提供するためにも必要な事業であるため、今後も財源確保に努めながら事業を継続する。	総合計画 地域福祉計画